

BEYOND NOW

ロボット・AI
～未来を開ける～

2026 **11** / 10:00～17:00
(20日は16:00まで)

19・20
木 金

会場 ポートメッセなごや
名古屋市国際展示場 第1展示館

参加費
無料
要事前申込

ロボット・AIシンポジウムは、これまで24年にわたり開催しています。開催当初は、目ざましい産業用ロボット技術の進展を背景として、サービスロボットの開発、実用化が目指されていました。近年は生成AIや大規模言語モデルの発展により、AIの知能をロボットなどの実世界で認識・判断・行動する「フィジカルAI」への期待が高まっています。本シンポジウムでは、次世代ロボットとAI、中部地域のものづくり技術との連携を通じて、ロボット・AIの社会実装と新たな産業価値の創出を目指します。

特別顧問 伊藤 英則・山田 陽滋

講演会 (11/19 13:00～16:20)

13:00 ～13:05	開会挨拶	名古屋工業大学名誉教授 伊藤 英則
13:10 ～13:55	基調講演	Physical AIの現実と戦略 株式会社 Preferred Networks AI Products & Solutions事業本部 本部長 岡田 利久 氏
14:00 ～14:40	講演1	フィジカルAIロボットの本格化に備え、 ユーザー企業がやることは？ フィジカルAI導入に向けたデータ準備と人材の育て方 トロン株式会社 代表取締役社長 和嶋 溪 氏
14:55 ～15:35	講演2	人協調運搬機器「LEAN」 ～人と機械が共存するモノの移動の未来～ 株式会社豊田自動織機 技術戦略部 部長 名和 政道 氏
15:40 ～16:20	講演3	AIロボット研究の現在地とこれから ～産総研における身体知能と社会実装への挑戦～ 国立研究開発法人 産業技術総合研究所 次世代ものづくり実装研究センター 主任研究員 室岡 雅樹 氏

ブース出展 (11/19 10:00～17:00、11/20 10:00～16:00)

愛知県	愛知県のロボット産業振興の取組の紹介 (五十音順)
OHチャンネル イノベーションズ 株式会社	「リモート操作と記録再生によるロボット技術」と 「力加減を伝えるハンド技術」
株式会社 SmartOne	SmartROBOX AI Cell
株式会社 豊田自動織機	モノの移動を担う人協調運搬機器LEAN
トロン株式会社	空間コンピューティング技術の活用で、産業界の革新を 支援する会社です
名古屋市	名古屋市のロボット・AI等関連事業のご紹介
株式会社和ロボ	多品種生産でも自動化できる「DEKIRUwaRobo」
中部イノベネット/ (公財)中部科学 技術センター	つながる、広がる、中部のイノベーション 新しい価値を共創するネットワーク

お申し込みは
こちら

次世代ものづくり
基盤技術産業展
TECH Biz EXPO 2026

【同時開催】第15回次世代ものづくり基盤技術産業展～TECH Biz EXPO 2026～

<https://www.techbizexpo.com/>

講演会定員100名

※講演会は定員に達し次第、
受付を終了いたします。



主催：ロボット・AI シンポジウム 2026 名古屋実行委員会

構成団体：愛知県、名古屋市、(公財)名古屋産業振興公社、(公財)中部科学技術センター

後援：経済産業省中部経済産業局、(一社)中部経済連合会、名古屋商工会議所

講演詳細は裏面をご覧ください

ロボット・AI分野の第一線で活躍する講師陣が、最新の研究・技術動向と今後の展望について講演します

13:00~13:05 開会挨拶 名古屋工業大学名誉教授 伊藤 英則

13:10~13:55 基調講演 Physical AIの現実と戦略

株式会社Preferred Networks
AI Products & Solutions
事業本部 本部長

岡田 利久 氏

本講演では、「フィジカルAI」の現在地と、AIが実世界で活躍するために必要な技術・戦略を、具体的な事例とともに分かりやすく解説します。

生成AI（LLM）が急速に進化する一方、ロボットをはじめとするフィジカルな領域では、インターネット上には存在しない触覚・力覚などの「物理データ」をどう集め、学習に活かすかという独自の難しさがあります。PFNが取り組むロボットや材料探索の事例を通じて、デジタルの世界とは異なる、実世界ならではのAI活用の課題と可能性を紹介し、さらに、ロボットの行動を決定するVLA（Vision-Language-Action）モデルの可能性と現時点での限界、実ロボットによる学習、シミュレーション、データ収集といった研究開発の最前線を解説します。

フィジカルAIは、単純な「資本の勝負」ではなく、まだ「技術的な工夫の勝負」ができる段階にあります。何がすでにでき、何がまだ難しいのか。フィジカルAIの未来を見据え、今取り組むべき技術課題と新たな可能性を俯瞰します。

14:00~14:40 講演1

フィジカルAIロボットの本格化に備え、ユーザー企業がやることは？
フィジカルAI導入に向けたデータ準備と人材の育て方トロン株式会社
代表取締役社長

和嶋 溪 氏

フィジカルAIの技術動向は日々更新されますが、ユーザー企業にとっての問いは「将来の動向をどう見立て、今から何を仕込むか」です。本講演では、ロボットを導入する前に自社側で着手できる準備を実務レベルで整理します。第一に、データの準備。人の作業をロボットに転用するためのデータ収集と、導入シミュレーションに備えた工場のデジタル化について解説します。第二に、技術習得。自社の担当者がロボットとAIモデルを自ら目利きできる状態をどうつくるか、どの要素にどこまで追いついておけばよいのかをお示しします。米中の先端企業と直接つながり最新事情に通じ、名古屋のロボットラボで製造業各社と実機検証を重ねてきた立場から、先端技術のポテンシャルを見据えた現実的な進め方をお伝えします。

14:55~15:35 講演2

人協調運搬機器「LEAN」～人と機械が共存するモノの移動の未来～

株式会社豊田自動織機
技術戦略部 部長

名和 政道 氏

労働人口の減少や高齢化が進む中、製造・物流現場では自動化のさらなる進展が求められています。一方で、多様な作業や変動の大きい現場では、人の柔軟性を活かしながら機械と協調する新たなアプローチが重要となります。

豊田自動織機では、「モノの移動」の未来を見据え、人と同じ空間で安全に協調しながら作業できる人協調運搬機器「LEAN」を開発しています。LEANは、2輪倒立制御技術を活用し、重心変化や転倒モーメントを推定して安定姿勢を維持するとともに、人の接触や力を検知して安全に動作することを特徴とします。

本講演では、LEAN開発の背景となる製造・物流現場の課題、倒立制御と人協調技術、安全設計および実証事例を紹介しします。

15:40~16:20 講演3

AIロボット研究の現在地とこれから～産総研における身体知能と社会実装への挑戦～

国立研究開発法人 産業技術総合研究所
次世代ものづくり実装研究センター 主任研究員

室岡 雅樹 氏

生成AIの進展により、ロボットは個別の作業を実行する機械から、多様な環境やタスクへ柔軟に適應できる身体知能へと進化しつつあります。本講演では、世界のAIロボット研究の最新動向を概観するとともに、産総研で進めるロボット学習やヒューマノイドに関する研究を紹介し、また、国の研究プロジェクトや企業との連携を通じた研究開発の取り組みを交えながら、AIロボット研究の今後の展望について解説します。

会場
アクセス

ポートメッセなごや 第1展示館（名古屋市国際展示場）
愛知県名古屋市港区金城ふ頭3丁目2-1
あおなみ線名古屋駅から24分乗車「金城ふ頭駅」下車
徒歩3分

お申し
込み

参加費：無料（要事前申込）

※講演会は定員に達し次第、受付を終了いたします。

TECH Biz EXPO 2026 ホームページよりお申し込みください。
<https://www.techbizexpo.com>

お問い
合わせ

ロボット・AIシンポジウム2026名古屋実行委員会 事務局
（公財）中部科学技術センター イノベーション創出支援室
愛知県名古屋市中区大須1丁目35-18
TEL: 052-231-6723 Email: cis@cstc.or.jp

同時開催

第15回次世代ものづくり基盤技術産業展-TECH Biz EXPO 2026-

主催：名古屋国際見本市委員会
（公財）名古屋産業振興公社構成：名古屋市、愛知県、名古屋商工会議所、
（独）日本貿易振興機構（ジェトロ）名古屋貿易情報センター、
（公財）名古屋産業振興公社